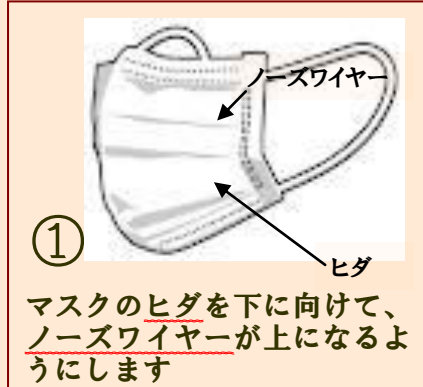


マスクの豆知識

今シーズンのインフルエンザはA H 3 亜型（A 香港型）を中心に流行しています。昨年の10月中旬以降から患者数が増え始め、今年になってからは急速に増加しています。定点当たり報告数では岐阜県、愛知県、三重県の中部地方で患者数が多く、宮崎県では全国平均を下回っていますが、同様に増加しています。

風邪やインフルエンザの予防はうがい、手洗いと並んで外出時のマスクの着用が有効です。しかし、マスクは正しく装着しないと効果がありません。マスクから鼻が出ていると鼻からウイルスが体内に侵入します。顎に引っ掛けている人を時々見かけますがもっての外です。正しいマスクの使い方を身に付けて、風邪から身を守りましょう。

【マスクの付け方】



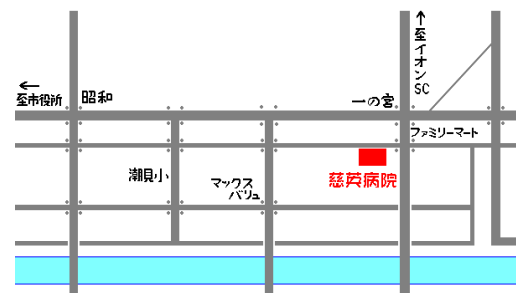
【マスクの外し方】



【マスクの種類と特徴】

◎ 家庭用	カゼ、花粉対策や防寒・保湿などの目的で日常に使われるマスクです。素材や形状、サイズなども豊富で、フィルター性能と通気性のバランスがよいため、長時間に渡り、快適に使用できるのも特徴です。
◎ 医療用	主に医療現場もしくは医療用に使用される感染防止用マスクで、外科手術などの際に使われます。“外科の”“手術の”という意味から「サージカル (surgical) マスク」とも呼ばれています。
◎ 産業用	主に工場などで作業時の防塵対策として使用されるマスクです。工業用マスクや防塵マスクとも呼ばれ、粉塵の量や性質により口や鼻だけを覆うもののほかに顔面すべてを覆うものもあります。

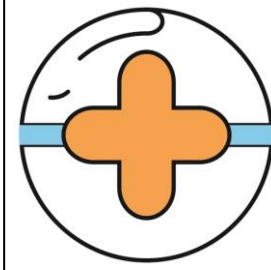
社団法人日本衛生材料工業連合会のホームページより引用



診療科目：内科・神経内科・リハビリテーション科
 〒880-0853 宮崎市中西町160番地
 TEL 0985-23-5000 FAX 0985-23-5886
<http://www.jiei.jp> e-mail info@jiei.jp

編集委員

江藤裕子 高瀬祐枝
 竹迫彩 富永亜津妙
 横山恵美子 黒木咲野
 清奈蔵 砂地優宏
 黒松和子 角畑エイ子
 中野麻美 平賀絹代
 東洋一



まごころ

第11号

2012年
 慈英病院
 広報誌

《理念》

真心込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指します

《基本方針》

患者の尊厳を守り、権利を尊重し、患者第一の医療を行う
 一人ひとりの患者に対して、科学的根拠に基づき良質な医療を提供する
 高い倫理観に基づく品格ある医療を提供する

《目標》

医療の安全、安心、満足を約束する
 一人ひとりの願いを叶える

年始のご挨拶

平成24年を迎え、早1ヶ月が過ぎようとしております。まだまだ寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。私ども慈英病院は、「真心込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指します」という理念の下、3つの基本方針と2つの目標を持ち、昨年1年間、誠心誠意患者様に心のこもった医療サービスを提供するように努めてまいりました。そういう医療行為を行っている中で、ふとした時に見せる患者様の笑顔やご家族の「ありがとう」という言葉が我々職員の一歩の励みとなっております。また、以前より、より高度な医療や看護・介護が必要な重症の患者様を受け入れるよう努力してまいりました。お蔭さまで昨年1年間、急性期の病院より多くの患者様の紹介をいただきました。このことは、当院が慢性期の患者が入院する病院（療養病床）の中で一定の評価をいただいている証であろうと思っております。今年も、このように評価された所をさらに発展させること、それと同時に昨年十分出来なかった点を反省し、より評価される病院になるよう職員一同なお一層の努力を続けていく所存です。今年もよろしくお願いいたします。

慈英病院 院長 前田正存

今年の計画より

私たちは、“皆様に愛される病院”を目指して、毎年計画を立てて医療サービスの向上に取り組んでいます。今年はずっと初めに慢性期医療機能の強化に取り組んでいく計画です。近年、急性期医療を担う病院では入院期間が短くなってきているため、後を引き継ぐ病院の役割が従来に増して重要になっていると感じています。慢性期の病院では、患者さんが抱える多くの治療の継続、生活の質の向上への取り組み、在宅復帰支援、認知症ケア、終末期の患者さんの心のケア・看取りなど、果たすべき様々な役割が存在します。心と体、総合的な治療や支援が必要ですが、中でも一昨年の6月に日本慢性期医療協会から公表された“慢性期医療の臨床的・インディケーター”の評価項目を指標に、「肺炎の予防と治療」「褥瘡治癒率の向上」「低栄養の改善」「経管栄養から経口摂取への移行」などは特に力を入れて取り組む計画です。二つ目は、医療・介護における地域連携の強化を図りたいと考えています。前田院長も年始のご挨拶で触れておりますが、慈英病院は急性期医療を担う病院から大変多くの患者さんをご紹介いただいております。私達の役割はもちろん患者さんを治療して元気になってご自宅に帰っていただくことです。然しながら、障害が残ったために生活面で自立できなくなった方は家族の協力がなければ自宅には戻れません。自宅が無理だからと言ってずっと病院に入院してられる時代でもありません。そこで大事な役割として退院後を見据えた支援があります。介護が必要な方が暮らす施設はたくさんあります。しかし、施設の種類が多いために各施設が持っている特徴・違いが一般の方には判りづらいと思います。私たちは、患者さんにとって最適な生活の場所を、地域と連携して提供していきたいと考えています。

慈英病院 事務長 東洋一

クリスマス会



患者様は、入院されていらっしゃるとお買い物の機会がありません。今日はクリスマスです。病院内ですが、ご自分でお金を持ってお買い物です。さて、20円のせんざいでも食べるかな。孫達にクッキーでも買ってあげるかな。家族で食べると旨いなあ〜。楽しいなあ〜。



お婆ちゃんからケーキ、ゼリー、おもちゃのプレゼント



お父さん！メリークリスマス



可愛いお声でお歌のプレゼント、どうもありがとう！



ご主人が付き添って、とても安心そうです



これからも一緒に、よろしくお願ひします



とっても素敵なお顔です

自慢の屋台…私達が作りました 喜んで頂けたでしょうか？

ショートケーキ、クッキー、お饅頭、水羊羹、コーヒーゼリー、せんざい…、患者さんが食べても危なく無いよう柔らかく小さく、調理師さんたちが心を込めて作りました。甘味処の屋台も職員達の素人芸ですが、見た目立派にできました。看護師長さん手作りの紅葉の葉も用意したのですが、残念なことに写真を撮り忘れてしまいました。



病棟の食堂で3回に分かれておよそ200名の方々が参加してくださいました。準備に当たって十分計画を練ったつもりでしたが食堂に入りきらずご迷惑をお掛けすることになってしまいました。それに関わらず楽しんでいただき笑顔で戻られたことでスタッフは大変救われました。みなさんどうもありがとうございました。

お正月

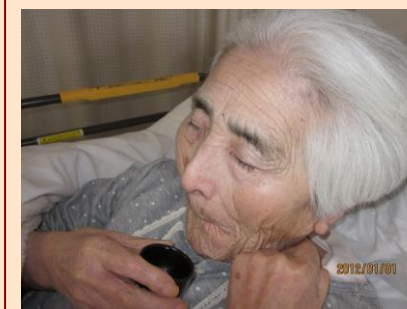
新春のお喜びを申し上げます
皆様おすこやかに新春をお迎えになられたことと存じます。ご入院中の患者様は現在療養中でございます。その中で、新春をお迎えになられました。御屠蘇を頂き日々の幸せを職員と共に祈りをさせて頂きました。



美味しい梅酒を飲んで。幸せです！



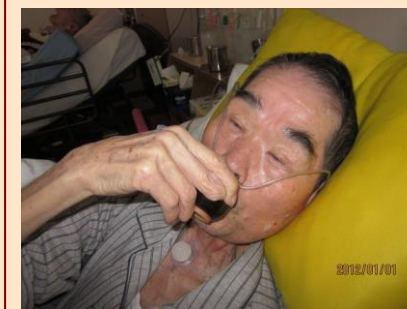
元日に孫が来ました。みんなで新年に乾杯！



お屠蘇の香りを楽しんでから飲みました



お父さん、今年もよろしくお願ひします



清酒菊水をお代わりにして満足？のお顔

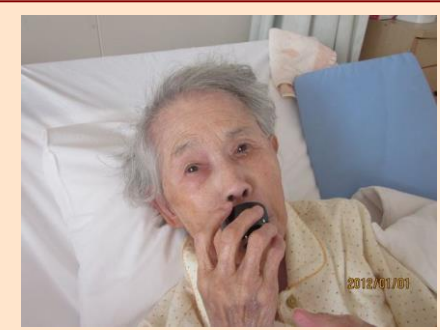


梅酒、日本酒、焼酎の中からお気に入りの日本酒を選びました



いいなあ〜！3杯お代わりしました

何をお願いされていらっしゃるのでしょうか？
きっと、平穏な一年でありますようにと・・・
患者様、ご家族様がお幸せでありますように・・・
職員一同願っております



美味しいお屠蘇に目がパッチリと輝きます